

# とっとり 県議会だより

編集・発行…鳥取県議会

県議会広報紙…年4回発行 平成28年2月1日発行

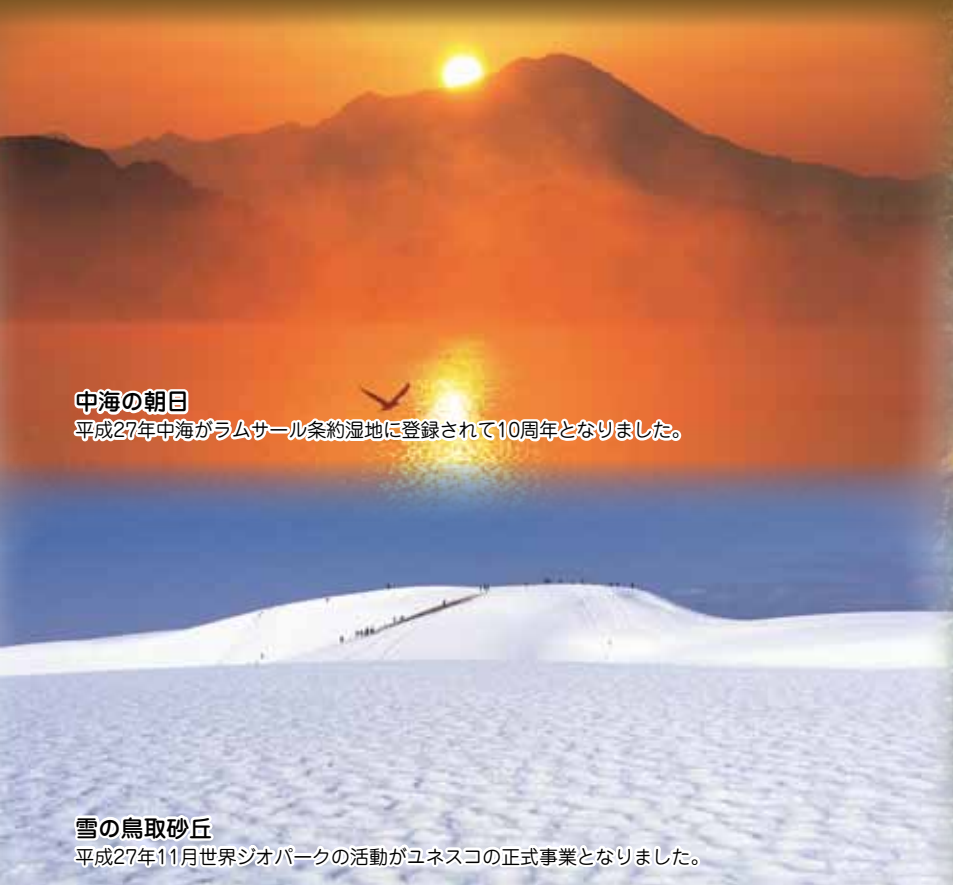
平成27年11月定例会

No.015

Nov.  
11月  
議会

📌 主な記事 Contents

代表質問	2p
一般質問	3~7p
委員会活動	8~9p
海外調査	9p
議決結果	10~11p
決算審査特別委員会	12p
お知らせ	12p



## 中海の朝日

平成27年中海がラムサール条約湿地に登録されて10周年となりました。

## 雪の鳥取砂丘

平成27年11月世界ジオパークの活動がユネスコの正式事業となりました。



## 三徳山 三佛寺 投入堂

平成27年4月三徳山・三朝温泉が「日本遺産」第1号に認定されました。

## 11月定例会の概要

11月定例会は11月30日に開会。

平井知事から総額37億7千万円余の平成27年度鳥取県一般会計補正予算や美しく快適で安全な生活環境の保全を図るための「使用済物品等の放置防止に関する条例」など22議案が提案された。

本会議では、代表質問は鳥取県議会自由民主党が、一般質問には28名の議員が登壇し、県政の諸課題について、知事、教育長、警察本部長らと活発な議論を展開した。

会期中、知事からは教育委員会委員1件の人事案件が追加提案された。

審議の結果、知事提出議案については、継続審査議案を含む25議案すべてを原案どおり可決、認定、同意した。

議員提出議案については、議員報酬に関する条例等の一部改正や「地域医療構想について地域の実情を反映した策定を可能とするよう求める意見書」など4議案を提案し、原案どおり可決した。

請願・陳情については、県立高等学校の数の維持と学級定員の引下げを求める陳情が9月定例会に引き続き研究留保となったほか2件を趣旨採択、4件を不採択と決した。

また、任期満了となる選挙管理委員4名と補充員4名について選挙が行われ、12月21日に22日間の会期を閉じた。

# 代表質問

11月定例会では、西川憲雄議員（鳥取県議会自由民主党）が、県行財政上の諸問題について、会派を代表して質問を行いました。

## 鳥取県議会自由民主党



西川 憲雄 議員  
選挙区 八頭郡

### 二十一世紀の姿とは

**問** 戦争又は、石油の時代と言われた二十世紀は終わり新しい世紀を迎えている今日、どのような世紀と呼ばれているか？グローバル化の中、自由貿易で発展した我が国の将来を見据えた時、二十一世紀の姿を予測しつつ、一億総活躍社会実現に向けた取組みと地方創生の取組みとがどのようにリンクしていくのか知事の認識を伺う。

**答** 一国民が一国家を形成するネーションステートの時代は変わり始め、ボーダレス化がなお一層

進むのが今世紀ではないか。また、環境の世紀と言われる新しい時代の中で、鳥取県の役割が注目されている。鳥取県が大切に育んできた自然環境や命が、新しい循環型の経済につながる、これが二十一世紀の価値観ではないか。こうした基軸による新しい村づくり、まちづくりが地方創生の王道ではないかと思う。

### 林業政策の取り組みは

**問** 持続可能な林業経営は低コスト林業や県産材の利用拡大などさらに生産性向上を図る必要があると考えるが知事の所見は。

**答** 県内の木材生産は高まっている。山が動き出した今、こうしたムーブメントを作り出していきたい。車両系の機械整備や河川系の機械整備、そうした方向に舵を切りその支援をしていく。

**問** 木材素材生産量について平成25年度の21万m<sup>3</sup>を平成31年に36万m<sup>3</sup>に引き上げる為には、県東部の素材出荷が重要である。しかし、

一日の搬出量は県西部と異なり東部は厳しい状況である。改善する為にも林道網、路網の整備が必要と考えるがどうか。

**答** やるべきことは森に対してきちんと手当てをしなければならぬ。その自覚のもとに、役場、森林組合を初めとした林業関係者、県、国がよく議論をし、調整をして優先順位をつけてやっていくべきと思う。それぞれの地域の特性と合わせた路網の整備の仕方を考えていくべき。地元のご意見を伺いよく相談しながらそれぞれの地域にふさわしい林業の発展のあり方を応援していきたい。

### 本県の歴史教育の充実

**問** 国は日本史と世界史を融合させた歴史総合を必修科目とし、近代史を充実させる方針だが、教科書に載らない我が鳥取県の歴史を子ども達に教えるべきと思う。そのためにも資料等の展示スペースを既存の建物の中に設置し小学校の授業に取り組みべきでは。

**答**（教育長）学校のホールや空き教室に資料を持って行って授業を展開することもやっている。検討中だが、博物館、美術館が独立整備となったあかつきには、今の

博物館を自然あるいは歴史の博物館として改修してはどうかということも考えている。鹿児島県の例も参考にして展示の方法、学校との連携方法、受け入れ体制なども含めて検討していきたい。

### 持続可能な財政運営

**問** 時代が変わりつつある中、今までの前人の遺産に甘える生活、つまり5百万円の収入で6百万円を使う生活と決別しなければならぬ。いま一度、行政サービスとは何なのか、社会のありようとは何なのか、結論を見出して地方創生に取り組みべきでは。

**答** 住民、企業との距離感、大学を巻き込む力、顔が見えるネットワークの中に鳥取県はある。お金だけで全てをはかる事はできない。もっと大きな力を引き出す事が出来れば持続可能な形でやっていける筋道も立つ。不要不急の事務の見直しなど行財政改革も片方ですっかり進めながら、重点的に投資すべきところには投資していくことで鳥取県の未来をともに築いていきたい。



# 一般質問

11月定例会では、28人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

## 障がい者雇用 に植物工場を

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

**問** 障がい者雇用の受け皿として県内産LEDと生ゴミのリサイクルから生まれる液肥を活用した植物工場を提案したい。産業振興や循環型社会の推進、更には障がい者の継続雇用につながる一石三鳥の鳥取県型植物工場モデルを是非実行してみてもどうか？

**答** 良いアイデアだと思う。県として具体的なプロジェクトにどのように関わることが出来るのか検討させて頂き、こうしたビジネスモデルを支援し広げていきたいと思う。

## 子どもの貧困 について

島谷 龍司 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** 子育て王国を標榜する本県として、子どもの貧困対策を総合的に推進するために責任を持って進行管理する担当部局の創設と貧困対策の条例化を進めるべき。

**答** 貧困問題は教育、福祉、子育て等、多種多様な環境が絡むものであり、それを束ねる担当室を新年度に設置したい。また、子育ての基本として子育て王国とつとり条例を制定しているが、この中に子どもの貧困対策など現在の社会的課題への対応を盛り込んだ形で修正を検討する。

## チーム鳥取！ 今後の展開は

伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 民主党

**問** 東京オリンピックを視野に置

いて子ども達の能力や可能性を引き出す取組みを提言したところ、昨年度からチーム鳥取！発掘・育成事業が小学五、六年生、中学一年生を対象に取り組まれてきた。

①総括と今後の展開は②子どもの特性と競技種目とのマッチングは。

**答** ①特別な育成プログラムを用意し事業を始めた。基礎体力デーは伸び、成果が現れている。引き続き二期生も募集し強化策を充実したい②本人や家族と相談しながら最も適した競技を選手する。

## ドクヘリ・動物愛護・学力

坂野 経二郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 民主党

**問** ①ドクターヘリの導入効果を問う②動物殺処分ゼロを達成した熊本市を視察した。鳥取県の取組みを問う③学力調査で常にトップクラスの秋田県と福井県を視察したが、学力以外の向上が秘訣だと感じたが、鳥取県の取組みを問う。

**答** ①年間10名強の命を救うことができる②動物愛護に取り組む方々と一緒に、殺処分ゼロを目指す③（教育長）全校に広がる朝の一斉読書や中学生の職場体験活動

など、良い取組みを広げ、鳥取県らしい教育の充実に努めていく。

## 学童保育、 TPP、防災

藤井 一博 議員



選挙区 東伯郡 会派 自由民主党

**問** ①学童保育の更なる充実が必要だ。事業所内学童保育制度が必要ではないか②県内におけるTPP対策は③先の県中部地震を契機に防災対策の見直しを。福祉施設との協力体制は十分であるか。

**答** ①せっかくの提案であるし、市町村とも連携の上、事業所内学童保育制度について検討してみた②影響は多岐に及ぶ。現場の声を反映した適切な対応を図る③福祉施設との相互協定や、福祉施設内の備蓄を見直すことなど、施設側との対話を通して検討したい。

### 会派正式名称

- 自由民主党…鳥取県議会自由民主党
- 民主党…鳥取県議会民主党
- 希望…鳥取県議会希望
- 公明党…公明党鳥取県議会議員団
- 共産党…日本共産党鳥取県議会議員団

## 引きこもりの相談体制構築

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

**問** 若者世代、現役世代の不就労者等引きこもりの人口は増加している。厚労省では、平成28年度国の生活困窮者等自立支援事業に、ひきこもり支援が盛り込まれた。国の補助事業を使い生活支援センター設置拡充に取り組みべきと考えるが知事に問う。

**答** 状況をよく見極め、県でも西部での拠点づくりの応援をした。また、中部の皆様は、今、東部のほうに相談に来ているが、当事者の方々のご意見を聞き中部に必要な対策も検討したい。

## 国の失政と地方の疲弊

木村 和久 議員



選挙区 鳥取市 会派 民主党

**問** 国の失政が予想できれば、国に財源の多くを頼る県であっても最低限のダメージですり抜け、反転する余力を地方は持つべきだと思いが、お考えはどうか。

**答** 私も共通の理解を持ってい

る。造林公社のように、失政のツケが地方に回ったケースもあった。農業も、競争力が十分でないままに、TPPということ壁が取り払われようとしている。大企業を支える経済モデルから、地方・農林水産業・中小企業を支える、その先導役を県が果たす。

## 健康寿命延伸 自然公園活用

横山 隆義 議員



選挙区 東伯郡 会派 希望のぞみ

**問** ①健康で充実した生活こそ幸せな人生。健康寿命延伸は県民の幸せ、医療介護負担の減少にもなる。健康・教養・仲間づくりに取り組んではどうか。②三朝東郷湖県立自然公園で伸び伸びと子どもたちが遊べる環境づくりを。

**答** ①特定検診受診率アップ、禁煙治療、運動習慣促進や健康経営マイレージ等の取組みを強め、対策を作り、実行していきたい。②さらに利用しやすい公園として、地元の意見も受けとめ、環境改善を進めていきたい。

## 文化財の保護 活用について

野坂 道明 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** ①米子城跡の追加指定地に計画されている三の丸・深浦・出山について歴史的文化的価値を伺う。②三の丸の提供を求める鳥取大学の要望書について見解を伺う。

**答** ①(教育長) 国指定と同等の価値があるとの文化庁見解があり、県教委としても同様な見解である。②市の任意性や自由な意思を阻害せず解決が図られるべき。(教育長) 開発は史跡整備を除いて極力抑制されるべきであり、協議の成り行きを重大な関心を持って見守りたい。

## 再生可能エネの展開と課題

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

**問** ①固定価格買取制度で太陽光は22年度比約9倍、再生エネ全体で20%増の実績だが知事の所感。②バイオマス発電で木材需要の急増が見込まれる中、森林保育、整備のバランスを保持しつつ、どう

木材の活用拡大を図るのか。

**答** ①政府に自然エネルギーの総体確保と地域電力の規制緩和を申し入れ。隠岐でのハイブリッド蓄電事業に期待。小水力は30箇所適地調査②木質チップ燃料で木材の搬出支援を継続し38万㎡生産で県産材を活用、山を動かしていく。

## 真の子育てと再エネの推進

福浜 隆宏 議員



選挙区 鳥取市 会派 無所属

**問** ①愛着障がい増加を鑑み乳幼児期に親が子どもを見られる社会実現に向け育児休業給付期間延長を②再エネの地産地消推進に向け知見集約の仕組みづくりと太陽熱温水器・断熱住宅の普及強化を。

**答** ①将来世代応援知事同盟で国に要望中。育児取得の環境整備で代替職員を確保しやすい仕組みを検討する②専門家のアドバイスをもらう仕組み、プロセスは必要。太陽熱温水器補助への市町村周知を促進する。省エネ住宅の視点が建築関係者に必要。研修を行う。





## ファイギュアミュージアム

川部 洋議員



選挙区 倉吉市 会派 希望のぞみ

**問** 倉吉の円形校舎にファイギュアミュージアムを誘致する民間の事業計画があるが、まんが王国のシンボルとなりうるこの事業を県が

もっと積極的に支援すべきではないか？

**答** 倉吉市が動き出せば、県としてもまんが王国の観光振興、または地方創生として支援のスキームも考え得ると思う。具体的な話になれば、市ともよく調整していきたいと思うし、関係者とも膝を交えて、今後のプランづくりや協議に参加していきたいと思う。

## 特別支援教育について

浜田 妙子議員



選挙区 米子市 会派 民主党

**問** ①半年になる県立鳥取養護学校の問題解決方針を問う②インクルーシブにシフトする特別支援教育のあるべき姿は③変化に取り残された市立米子養護学校のあり方を早急に決めるべきだ。

**答** ①総合的バックアップ体制を組み一月から専門的技量のある看護師を入れる。解決の基本は対象でなく主権者と思い、道筋を探るべき②(教育委員長)相互に学ぶ合う環境を作っていくことが重要③(教育長)総合教育会議等を通じ、病弱部門の整備につき議論したい。

## 9号と431号の課題

内田 隆嗣議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 国道9号線と431号線の交差点付近の土地利用の規制緩和について、隣接するイオンや農業施策との調整を図りつつ市街化地域と位置づけ、西の玄関口にふさわしい魅力的なにぎわい空間を育成するとしているが、具体策について伺う。

**答** 米子市の意向等実情を勘案し、地区計画を導入し景観・環境整備を進めるためのできる限りの協力・支援を行ってまいりたい。

## ジオパークや臓器移植など

銀杏 泰利議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

**問** ①ジオパークの取り組み強化を②臓器提供意思表示と移植の学習を③脳脊髄液減少症治療推進を。

**答** ①ユネスコジオパーク道府県連合を立ち上げ行動を起こす。コムス(※1)と電動自転車配置のステーションを2カ所設置、県境までのロングトレイル(※2)設

置とその記念全国大会開催、自然学習館・渚交流館一画の整備等を検討②意思表示PRに一層努める。(教育長)移植出前講座をより多くの学校に活用③研修会実施や公立病院での診療開始はできるだけ対処したい。

## 県立美術館の立地条件

興治 英夫議員



選挙区 倉吉市 会派 民主党

**問** 県立博物館の来場者は、東部62・6%に対し西部5・5%と少なく問題だ。新美術館は中部にあれば西部、東部からも訪れていた。県内各地からの訪れやすさを立地条件の一つにすべき。空港の近くという条件の意味は。

**答** (教育長)西部が少ないのは立地場所も大きく影響しているかもしれない。一義的には県民の利用が目的。次回検討委員会に報告して議論いたたく。鳥取・米子両空港が使えるのと距離が近いのと、どちらがいいとはまだ言えない。



※1 コムス……トヨタ車体(株)が開発した超小型電気自動車  
※2 ロングトレイル…山や森林など自然の中を通る長距離自然歩道

## 淀江産廃処分場の中止を

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

**問** 11月の「水を守るための住民会議」は若い人たちが自主的に計画を進めてきた。当日の知事への一言を紹介する。全国に誇る名水の里を守って。日本の原発問題と同じ。地下水汚染の可能性のある処分場を許可できるのか、など多数の声があった。感想を。

**答** ご意見を真摯に受け止め、今後の対策に生かす。環境を害さない処分場をどう担保するかが重要。水も健康も害される可能性があるものなら体を張って抵抗する。県民の声に従って検証する。

## 県民に良質な映画の提供を

前田 八壽彦 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** 県芸術文化祭の一環として県民に良質な映画を届けては。

**答** 鳥取フィルムコミッション等が映画の上映を頑張っている。しまね映画祭みたいな全県的なプロジェクトがあれば応援したい。今

でも鳥取力創造運動で映画関係イベントを行えるが、全体で集まってやることとなれば別格的な事業も組める。よくよく関係者とも意見を合わせ、鳥取県ゆかりの映画監督の紹介等いろんなことを含めてやっていけばよいと思う。今後関係者と話し合ってみたい。

## 県税徴収といじめ・不登校

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

**問** ① 地方税滞納整理機構の課題と今後について ② いじめ再調査結果についての所感 ③ フリースクール連携推進事業を進める上で知事部局・教育委員会・教育現場の連携が重要だがどう考えるか。

**答** ① 発足5年だが、各市町村にいろんなテーマがあり運用面の改善が必要。関係者の意思疎通を図り向上させたい ② 調査の指標が変わっただけで、実態が非常に悪くなったのではない ③ 官民協力し不登校から立ち直り、教育を支えられるようしっかりと連携を図る。

## 知的障がい者県の正職員に

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

**問** 平成27年2月議会で知的障がい者の県正職員採用試験について取り上げたが採用計画・処遇・周知について、また、給与体系についても知事に伺う。

**答** 正職員採用について検討してきたが、新年度の採用を若干名していく。知的障がい者の方の取り組みやすい内容の仕事をしていただく、6〜7月ごろに募集を行う。業務内容に合わせた給与水準を考えており、これから来年度の採用試験に向けて具体的なことを定めてまいりたい。

## 18歳選挙権で投票率向上を

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 会派 民主党

**問** 18歳選挙権は、投票率を上げる唯一無二のチャンス。大学等に期日前投票所を設ける取り組みなど新たに考えてはどうか？

**答** (選管委員長) 鳥取市は1日限定だが、鳥取大と鳥取環境大で

期日前投票所の設置を決定済。大学生のみならず鳥取市の選挙人も利用できる。そのほか大学等への期日前投票所の新設を含め、若い人の政治意識の向上や投票率の向上への取り組みに、県教育委員会や市町村選管、関係機関と連携して積極的に取り組んでいきたい。

## 子ども、自衛隊受験、労働

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 会派 共産党

**問** ① 保育料第1子振替軽減継続 ② 保育士不足と処遇改善 ③ 子ども貧困対策計画にあしなが学生の意見反映 ④ 射撃訓練ある自衛隊学校の中学での受験案内と智頭中保護者同意なし受験の中止 ⑤ 労働者の声で補助金受取企業のは正 ⑥ 鳥大改革は教員養成残し地域貢献相談。

**答** ① 来年度予算で調整 ② 保育士不足は取組検討。給料調査結果は公表。県助成しない ③ 当然意見聞く ④ 情報提供必要。志願票は保護者と作成に改善 ⑤ 声を聞き改善し労働局にも話す ⑥ 意見交換し協力。



## 不妊治療助成について

松田 正議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 年齢・回数制限等、国の方針が大きく変わるがどう対応するのか。また若年世代を不妊治療へ誘導するための初期検査助成の創設、男性不妊（無精子症）治療の助成強化についての方針を伺う。

**答** 本県は年齢・回数制限なしでやってきた。従来政策から過度に撤退し過ぎない程度の修正を考えた。初期検査の助成制度は当初予算で検討したい。無精子治療は従来から特定不妊治療の助成対象に入っているが国の検討状況を見たと上で年明けに対応を考えたい。

## 障がい児者施策のあり方

浜崎 晋一議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** 障がい者雇用を更に進めるために、大きな企業のみならず、広くあいサポート企業の協力を求める必要があるのではないか。

**答** 小規模なあいサポート企業にも障がい者雇用を促すようキャン

ペーンを展開していきたい。

**問** 布勢総合運動公園を記録が出て、障がい者に優しい競技場となるよう、どのように整備するのか。

**答** 現在、日本財団と協議中だが、全国レベルの最新の機能を整備し、障がい者も健常者も活用できる施設としていきたい。

## 工業団地造成知事の考え方

中島 規夫議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** 交通アクセスも目に見えて充実し企業の進出圧力、事業拡張圧力が強まってきた今、県の工業団地造成支援「具体的な企業立地が見込まれる場合に限定される」この但し書きを改め市町村の企業誘致に、もっと積極的に協力しては。

**答** 県内の状況をみて、どのような対策が考えられるか再調査し、平成28年度当初予算に向けて議論させていたたく。

## 手話歌に学ぶ人権政策

福岡 裕隆議員



選挙区 西伯郡 会派 民主党

**問** ①解放文化祭での手話歌の感想は。②同和地区実態調査は必要。なぜ打ち切りになったのか。実態調査もせずに人権政策を実行しておられるのか。

**答** ①大変にすばらしい取り組み。同和対策という取り組みがここの世の中に果たしてきたその重みを感じる。②別の手法、隣保館なり地域をよく見ている人たちの面接調査等でも分かる。学習支援や奨学金の活用等の手法を使って、問題意識に迫っていきける体制を組んでいかなければならない。

## 観光施策と少子化対策

浜田 一哉議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

**問** ①大山開山一三〇〇年祭に向け世界に発信していくべき②老朽化した境港周辺の緑地公園の将来像を見据え、利用目的を明確にし、管理や改修について再検討すべき③婚活事業は、本県市町村のみな

らず、県外にも呼びかけるべき。

**答** 外国に強いサイトを利用し情報発信事業を始める②見直しを行う時期に来ていると思っている。インフラ長寿命化計画を策定し、地元の方々と共に方針を定めていく③「えんトリ」というサイトを通じ改めて呼びかけていく。

## 使用済物品等放置防止条例

稲田 寿久議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 今般「鳥取県使用済物品等の放置防止に関する条例」が議会上程された。その立法事実と社会的受容性は何か、又、守らんとする保護法益、憲法の経済的自由との関連性、罰則の妥当性などについての所見を聞く。

**答** 放置使用済物品の適正な保管を義務づけること、それに対する潜在的ニーズがあること、公衆社会の平穏安全を確保し、生活環境の保全は憲法上の「公共の福祉」として許容性の範囲である。罰則も両罰規定を含めて適正である。



## 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

### 総務教育常任委員会

11月定例会では、提案された平成27年度一般会計補正予算の本委員会分所管分など10議案を慎重に審議した結果、いずれの議案も妥当なものと同め、原案のとおり決定した。

陳情は3件あった。「地方自治法第99条の改正を求め意見書の提出」についての陳情は、趣旨採択。「マイナンバーの慎重かつ厳正な取り扱い」については、ガイドラインに



総務教育常任委員会での審議

従い厳格な管理運営を行うこととしており、既に適切に対応がなされていることから不採択と決定した。

また、「県立高等学校の数の維持と学級定員の引き下げ」についての陳情は、今議会中に示された高等学校の在り方の基本方針案について継続して議論する必要があることから研究留保と決定した。高等学校の在り方については、今後予定している県内調査により高校及び地域の実態等を把握し、議論を深めていきたいと考えている。

### 福祉生活病院常任委員会

11月定例会では、本委員会所管の平成27年度一般会計補正予算をはじめとした7件の議案について慎重審議の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

付議案の主なものとしては、美しく快適で安全な生活環境の保全を図るための「使用済物品等の放置防止に関する条例」の設定、また、福祉のまちづくり及びコンパクトなまちづくりを進めるための「地方創生の推進を図るためのまちづくり関係条例の整備に関する条例」の設定があった。

また、10月に県内調査として、渡辺病院、

鳥取看護大学、東西町コミュニティホーム「西町の郷」を訪問した。渡辺病院では、依

存症対策の現場が抱える課題を伺い、鳥取看護大学では、実習の環境として、公民館で相談室を開くなど、地域に根ざした学校運営の現状を伺った。西町の郷では、民家を改装した、地域の住民組織による高齢者の居場所づくりの取組を伺った。

### 農林水産商工常任委員会

11月定例会においては、常任委員会に付託された補正予算案ほか2件の議案を慎重審議の結果、全て原案どおり可決した。

補正予算の主なものは、商工労働部関係（3億6千万円）の工業団地整備に係る支援や農林水産部関係（2億4千万円）の中間管理



鳥取看護大学の調査

事業に伴う機集積協力金の増額などであった。報告では、TPP大筋合意を踏まえ、庁内対策会議や国への要望活動のなどの対応状況について説明があり、農林水産関係では、情報開示が不十分なので各県単位での国の説明を求めることや、商工関係では県内で力をつけている、電気・自動車・航空機産業の需要の獲得に向けて戦略を構築すべきとの意見があった。

また、10月に実施した境港水産事務所の県内調査では高度衛生管理計画に基づく市場整備に係る事業費の高騰や遅延は十分に考えられるので、着工後は速やかに事業実施されるよう、引き続き注視していくこととなった。



境港水産事務所の調査

### 地域振興県土警察常任委員会

11月10日、米子市内において、第40回目となる「岡山・鳥取両県議会土木関係常任委員会合同会



## 充実した国際交流と海外調査

議」を開催し、両県を結ぶ道路網の整備状況等について協議、意見交換を行い、その結果を踏まえ地元選出国會議員、国等に対して、要望書を提出することとした。

また、11月定例会においては、「平成27年度鳥取県一般会計補正予算」ほか7議案について慎重に審議を行った。

その結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

加えて、新規提出の「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を求める意見書の提出について」他1件の陳情は、国内外への基地移設を念頭に置いた国民的な議論を行うことについて、配慮すべきであるが、外交・防衛は国の専権事項であること。国と沖縄県の間で訴訟が提起されていること。の理由から「不採択」と決定した。



岡山・鳥取両県議会土木関係常任委員会合同会議

鳥取県議会では、友好提携している諸地域との地方間の国際交流に力を入れている。

今年度は、環日本海地域などへ調査のための議員派遣のほか、ブラジル・鳥取交流センター設立20周年記念式典への参加及び韓国江原道議会からの訪問団の受け入れ事業を行った。

江原道議会と鳥取県議会は、平成22年に友好交流に関する合意書を締結しており、同年から相互交流を行っている。今年度は10月に

南景文議員を団長とする訪問団が来鳥し、県立中央病院や県福祉人材センターなどを視察。また、本県議会議員との交流も行われ、地方間交流の重要性をお互いに再認識することができた。



江原道議会訪問団 意見交換

11月8日にブラジルサンパウロ州において、ブラジル・鳥取交流センター設立20周年記念式典が開催され、斉木議長を団長に訪問団3名が参加した。



ブラジル訪問団 記念式典

タイでは、訪日観光客の動向、経済交流の状況、本県からの進出企業の活動状況、県産品の輸出の可能性などについて調査を行った。



タイ訪問団 タイ・サミット・スイジ・フォーザン社調査

中国吉林省では、更なる交流の推進、環日本海交流に係る中国側の拠点の今後の可能性、鳥取環境大学と吉林大学との今後の交流のあり方等を協議した。

交流センターは、ブラジル鳥取県人会の活動の拠点として設立されたもので、しゃんしゃん傘踊りほか各種の講座が毎日開かれ他県に例を見ないほど活用されていた。また、今年度は県費留学・技術研修制度の創設50周年も迎えたことから、県費留学生や技術研修生のOBの皆さんとの意見交換も行い、次世代の日伯交流の効果が期待できるものとなった。

そのほか、今年度の海外調査は3地域を訪問した。10月に、タイ、中国吉林省、11月にロシア沿海地方へ延べ12名の議員を派遣した。



中国吉林省訪問団 吉林大学訪問



ロシア訪問団 ゴルチャコフ議長表敬訪問



1 賛否が分かれた議案及び否決された議案

議案等番号	件名	自由民主党						
		稲田 寿久	上村 忠史	内田 隆嗣	内田 博長	島谷 龍司	中島 規夫	西川 憲雄
9月定例会⑱	平成26年度鳥取県営病院事業会計資本剰余金の処分及び平成26年度鳥取県営病院事業決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
⑳	平成26年度決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○
㉑	平成27年度鳥取県一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○
㉒	鳥取県基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉓	鳥取県手数料徴収条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉔	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉕	鳥取県警察手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉖	職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
㉗	鳥取県議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び鳥取県議会議員の議員報酬及び期末手当の額の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情27年-12	県立高等学校の数の維持と学級定員の引下げを求めることについて	研究留保	○	○	○	○	○	○
陳情27年-27	名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-28	地方自治法第99条の改正を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-29	マイナンバーの慎重かつ厳正な取り扱いについて	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情27年-30	米軍普天間飛行場の沖縄県名護市辺野古への移設に関連し、住民の民意を尊重すべきことを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案  
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

2 全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
9月定例会⑰	平成26年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び平成26年度鳥取県営企業決算の認定について	可決及び認定
	決算認定に係る指摘事項〔9月定例会17号、9月定例会18号、21号〕	承認
⑱	平成27年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計補正予算	可決
㉑	平成27年度鳥取県天神川流域下水道事業特別会計補正予算	可決
㉒	平成27年度鳥取県営病院事業会計補正予算	可決
㉓	鳥取県使用済物品等の放置防止に関する条例の設定について	可決
㉔	地方創生の推進を図るためのまちづくり関係条例の整備に関する条例の設定について	可決
㉕	貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例の一部改正について	可決
㉖	鳥取県電子署名に係る地方公共団体の認証業務に関する法律施行条例の廃止について	可決
㉗	工事請負契約（鳥取県立米子コンベンションセンター床機構改修業務）の締結について	可決
㉘	財産を無償で譲渡すること（石垣）について	可決

# 平成26年度決算を認定

鳥取県議会は決算審査特別委員会を本年設置し、総務教育、福祉生活、農林水産商工、地域振興県土警察、県営企業、病院事業の6分科会を設けて効率的かつ詳細な審査を行い、新年度予算に審査結果を反映させるため、11月定例会で決算認定を議決している。

決算関係の議案は、9月定例会から審査を始め、各分科会ごとに

書類審査、質疑、現地調査などを実施。最後は委員全員で議論の結果、文書指摘11件、口頭指摘8件をしたうえで、認定と決した。

決算審査特別委員会では、2月定例会で、指摘事項を予算にどう反映したのか執行部から説明を受け、より適正な予算編成を実現するよう努力していく。

## 県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。

議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

※傍聴席に同時手話通訳が見られるディスプレイを設置しています。手話通訳を希望される方の事前申込みが不要となりました。

※9月定例会から乳幼児を連れての傍聴が可能となりました。0歳から小学校入学前までのお子様も事前の許可なく傍聴ができます。

## ネットでもご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会、全員協議会はインターネット (<http://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>) で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課 (☎0857-12617460)へお問い合わせください。

## 文書指摘の概要

- 高等教育機関の研究支援** 成果が本県施策にどのように反映されているか判然としない。県として期待する成果の整理、県民への公開方法の充実を図るべき。
- 文化芸術の振興** 「とりアート」と「鳥取藝住祭」の両事業に連携がなく違いもわかりづらい。「アートピアとっとり」の実現に向けて両事業の連携を図りながら更に充実させるべき。
- 重度障がい児者医療型ショートステイ整備等事業と療育支援のあり方** 医療的ケアが必要な重度障がい児者がいつでもショートステイできるよう受け入れ環境を整備すべき。また、今後の療育支援について質量ともに、あり方の抜本的な検討が必要。
- 鳥取県型強度行動障がい者入居等支援事業** 障がいの状況や家族の生活実態に合わせて補助期間の延長や補助対象の拡大を検討すべき。また外部専門家アドバイザーの配置も検討すべき。
- 中山間地域市町村保育料無償化等モデル事業と保育料** 保育料無償化・軽減を必要とする多くの子どもが対象となるよう、希望する全ての市町村が活用しやすい制度改正等を検討すべき。
- 喜多原学園** 寮は完全個室とすべき。求められる支援を満すには職員数が絶対的に不足。職員体制を強化すべき。また、学校・教育委員会との協議が必要。就職支援の体制も整備すべき。
- 障がい者の就業支援** ジョブコーチ確保のための雇用条件の改善や、相談環境の改善等について検討すべき。
- 畜産試験場の整備** 畜産試験場が研究成果を上げ、鳥取和牛のブランド化、酪農の発展につなげられるよう、施設の整備、人員の確保について真剣に対策を講じるべき。
- 厚生病院の施設の見直し** 現在のニーズに応じた院内の配置の検討や、必要な施設の増設などの対応策の検討が必要。
- 育英奨学資金貸与者で県内就職する者への返還優遇** 育英奨学資金の貸与を受けた者の地元定着を図るため、県内就職する者に対して育英奨学資金の返還を減免することを検討すべき。
- 教育センター** 教育センターにおいて、教職員の心の悩みも含めて幅広く相談・支援できる体制を一層強化すべき。

## 2月定例会の日程案

期 日	日 程
2月22日(月)	本 会 議 (開会・提案理由説明)
23日(火)	常任委員会
24日(水)	
26日(金)	本 会 議 (代表質問)
3月1日(火)	
3日(木)	本会議 (先議議案質疑)・常任委員会
4日(金)	本会議 (先議議案採決、一般質問・質疑)
7日(月)	本 会 議 (一般質問・質疑)
9日(水)	
10日(木)	
14日(月)	
15日(火)	常任委員会
17日(木)	
18日(金)	特別委員会
22日(火)	本 会 議 (採決・閉会)

※日程は変更の可能性があります